

第5学年2組 体育科学習指導案

1 単元名 ゴール型 (バスケットボール)

2 本時の学習指導

(1) ねらい

ドリブル、パス、シュートなどの基本的な技能を知りバスケットボールに興味関心を持てるようにする

(2) 準備

タイマー ボール カラーコーン

(3) 展開

○指導、◆評価、◎十分満足できる具体的な姿、△努力を要する児童への手立て

段階	学習内容・活動	指導上の留意点
導入 5分	1 集合・整列・挨拶・健康観察をする。 2 準備運動をする。 3 バスケットボールに必要なことを確認させる。	○学習規律の定着を意識して、準備運動の隊形など、繰り返し指導する。 △声を出していない生徒に声かけをする ◎シュート、ドリブル、パスというバスケの三要素をわかっている。
展開 35分	学習課題 バスケの基本的な技能を知ろう	
	パス練習をする。 ・オーバーハンドパス ・チェストパス ・バウンドパス ：2人組で行う 5 ドリブル練習をする。 ・ドリブルリレー ：利き手で一回 両手で一回 6 シュート練習をさせる。 ・ランニングシュート	○突き指しないようにパスは手を三角の形にすることに注意する ○話を聞くときは手遊びをしないように体育座りさせボールはケースに戻す。 ◎相手にちょうどいい高さ速さでボールを渡すことができる。 ○速いボールが来たときは前に落とすということを教える。 ○技術を早く習得するために一番よくできたチームになんでよくできたのかを聞き全員で共有する。 ○児童を6チームに分ける。1チーム6人とし5人のチームは1人が二回行う。 ◎ランニングシュートがスムーズにできている。 △ランニングシュートがうまくできてな

	・ジャンプシュート 1 分間で何回入ったか競争させる。	い児童に足の使い方、ジャンプの仕方を教える。 ○グループ全員で声を出すことに気を付ける。 ◆パス、ドリブル、シュートなどのボールを受けるための動きを知る。
整理 5 分	7 用具を片付ける。 8 今日の学習を振り返る。 9 整理運動をする。 1 0 挨拶をする。	○素早く安全に片付けられるようにする。 ○使った部分をよくほぐすようにする。

備考 在籍児童数 35名 男女混合異質6チーム（1チーム6人編成）